

## 2014 観梅祈願祭ご案内

- 2014 年 (H26) 3 月 9 日 (日) 11 時から
- 場所：結城神社 津市藤方 2341 TEL059-228-4806  
三交バス津駅東口発 10:10 10:12 10:32  
天白行 サンバレー行
- 内容：七福神の発展と参加の皆様の幸せ祈願  
7 寺社様の梅園お練りなど

かげろうの 火加減もよし 梅の花 蕪村

## 巡拝1000人目は大阪の母娘

平成 24 年 12 月に開創してから 1 年余り、1 月 19 日に来られた母娘 (大阪堺市) の方で 1000 人目となりました。記念の色紙額をお渡ししました。

宿泊先で ZTV の「高橋美帆のそこいこっ！」をご覧になり、巡拝を思い立たれました。



瀧本令子さん 田口依里佳さん親子

## ■ 結城神社としだれ梅 福祿寿霊場結城神社宮司 宮崎吉章

二月初旬の頃になると、結城の森には華麗なる梅の香が漂って来る。梅苑には約三百本のしだれ梅が植えられているからです。

結城神社は南北朝時代の武将結城宗広公をお祀りした神社です。結城宗広公は陸奥の国白河 (現在の福島県白河市) の城主で元弘三年 (一三三三年) 後醍醐天皇の綸旨を奉じ、新田義貞公と協力して鎌倉幕府を滅ぼし建武中興の大業を助けられた。賞として鬼丸の太刀を賜り故郷に錦を飾り奥羽の平定に労苦を捧げられたが、足利尊氏再び京都を犯すに到



ったので、陸奥宮、義良親王を奉じて、北畠顕家公と共に錦旗を翻して陸奥の大軍を率いて西上された。しかし南風競わず再度の旗揚げも遠州灘の暴風に阻まれ、その志を得ずして当地に薨ぜられた。時に延元三年 (一三三八年) 秋深く御年七十三歳といわれている。昭和二十年戦災により御本殿以下諸建物を消失しました。それまで国家管理であった神社は、敗戦により戦後に一宗教法人となりました。

全国の神社は戦後の皆が苦しい時代を乗り切る為に様々な苦勞をする中、先代宮司は参拝者を増やす為には何をすれば良いか、すがすがしい気持ちで参拝して戴くには何が出来るか、再度参拝したくなる為には何が必要か、地域の名所になるものは何か、数々の試行錯誤を繰り返した後に、砂地に良く育つと言われる梅苑を思いつきました。しかし普通の梅苑は全国各地何処にでもあるので全国でも珍しい、しだれ梅の梅苑を目指し、四十年位前から全国より少しずつしだれ梅を集め、現在では三百本のしだれ梅が境内に咲き誇り県内外より多数の方々の御参拝を頂いています。

伊勢の津七福神の開創により宗広公が結城医王大明神としても祀られていたので、無病息災の福祿寿の御神像を御本殿脇にお祀りしています。

## ■ 津の七福神めぐり 恵比須天霊場初馬寺住職 近藤玄道

全国いたるところにある七福神めぐり、なぜか津市にはなかった。そこで由緒ある市内の有志 7 寺社で平成 24 年 12 月に、「伊勢の津七福神霊場会」として発足。津市だけでなく、市外県外の方々にも津市をよく知ってもらえたらとの思いです。「伊勢は津で持つ、津は伊勢で持つ」と伊勢音頭に歌われますが、昨年の遷宮を機に盛り上がりを見せる伊勢市に比べ、津の町は・・・と言われる今日。少しでも「町おこし」のお手伝いできれば幸いです。

江戸時代初期、津藩主藤堂高虎公は海沿いの道だった伊勢参宮街道をひん曲げてまで人の流れを城



下にもってきました。この七福神もそういうことに繋がればと思う次第。幾多の準備会議で出たキャッチフレーズを2〜3、

「七福神めぐる人には福来たる」

「伊勢詣で、津に参らねば片参り」

「七福神めぐる人だけ福来たる」・・・これは没となりました。

さて、今年の初夢はいかがでしたか？ 良い夢を見られるようにと枕の下に七福神の絵を置いて眠るのは楽観主義者だそうですが、笑って日々の暮らしが送ればこんなに幸せなことはありません。皆が努力の限りを尽くしていても我々の運命の最後の審判は神仏に委ねるより方策のないのもまた事実です。

伊勢神宮の天照大神には、生かされていることへの感謝をするのみで、お願いごとをしてはいけなようですが、我々庶民にとってはそうはいきません。必勝祈願・技芸上達・商売繁盛・延命長寿・無病息災・子孫繁栄・五穀豊穰 etc と、お願い事だらけです。さらによく考えると、これらはすべて人様の助けと良い環境があってこそ成就するもの。そこで自分を利する「自利」のためだけでなく、身近な人の為「利他」にも心を置いて、神仏に祈って欲しいものです。こういう気持ちで七福神を巡っていただき、満願成就となった伊勢の津七福神の色紙は縁起物や贈答品としても相応しいものとなります。

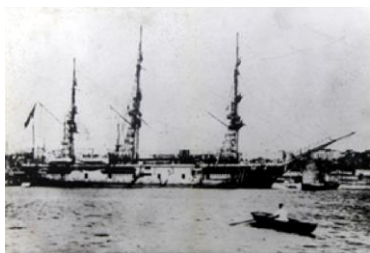
皆様、どうぞお誘い合わせのうえ、お巡りください。

## ■善は連鎖する

岡山県 威徳寺住職 おさだぎょういつ 長田 暁 一

皆さんは、エルトゥールル号事件（1890）というのをご存知でしょうか。

トルコの軍艦が、日本から帰国途中、和歌山県串本町沖で、暴風雨に巻き込まれて座礁し、587名が死亡し、



生存者はわずか69名という大惨事でした。今のように組織的な救助が迅速に出来る時代ではないので、地元の人たちが総出で助けに行きました。亡くなった人々は、丁重に葬りました。そして、生存者は、明治天皇の命により軍艦二隻で遠い遠い国トルコへ送りました。この惨事に同情した山田寅次郎さんは、遭難者支援のために、全国を歩き回り、義捐金を集めて、トルコへ持って行きました。トルコは国を挙げて感激し、なんと、皇帝自らが寅次郎さんと会ってお礼を述べられました。そして、トルコ国民の要請で、寅次郎さんは日本語教師として彼の地にとどまりました。教え子の中には、その後初代トルコ大統領となったケマル・アタチュル氏もいたのです。



おりしも、帝国主義真っ盛りの時代です。「他国の不幸は自国の幸福」と言わんばかりのころ、日本人の誠実、そして純な行動がトルコ人を感動させたのです。

この事件から百年ほど下って、1985年にイラン・イラク戦争が勃発しました。サダム・フセイン大統領は「今から48時間後にイランの上空を飛ぶ航空機は、それを打ち落とす！」

当時仕事の関係上、現地には大勢の日本人がいました。みんな空港から脱出しようとしたのですが、各国の航空会社は自国民を優先し、日本人ははじき出されてしまいました。救援機を飛ばす国も沢山ありましたが、日本は安全が確保されないので救援機を飛ばすことが出来ませんでした。全く、現地に居る日本人はピンチです。

その時、なんと、トルコ政府の救援機がやってきてくれて日本人を乗せて脱出してくれたのでした。タイムリミット一時間十五分前でした。

当初、日本はなぜトルコ政府が救援してくれたか理由がわかりませんでした。エルトゥールル号遭難は、トルコの歴史教科書にも掲載され、私も幼いころ学校で学んだ。子供でさえ知らない者はいないほど歴史上重要な出来事だ。これは時の駐日トルコ大使、ネジャッテさんが述べた言葉です。百年前の、エルトゥールル号事件の恩を忘れずに恩返しして下さったのです。

更に続きます。

1999年、トルコ大地震がありました。助けられた沢山の日本企業の人々は、恩を忘れてはいけなと、義捐金を集めてトルコに寄附をして喜ばれました。日本人にとって誇らしい出来事を、日本人は知っておくべきだと思います。これも歴史に学ぶ言ということです。

■おかげさま 矢川つや子（四天王寺 八の会）



ずいぶん前のことでございます。お寺の当番で伺い、お堂に上がりますとお薬師様の前で見知らぬ男の方が頭をたれて座ってみえました。お茶をお持ちしてこちらを向かれるのを待ちました。その方の話しです。

私は四日市から来ました。四天王寺のお薬師様や大黒様の事は聞いておりましたので病気で入院する前に、お参りさせていただきました。そののち元気になりました。何のお礼も出来ません、元気になった私を見ていただきたく、今日も、ことわりもなしに上がらせてもらいました。



お聞きして我がことのようにうれしゅうございました。お名前もお所も聞かずにお見送りいたしました。

お参りの仕方をその方から教わった様な気がいたします。どうぞお達者でいらっしゃればと時々思い出しております。

■鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ  
仏教詩人 坂村真民



「弁才天さま」  
半眼の弁才天さま  
あなたのお姿をかかげて幾年月  
わたくしもあなたと同じく  
右眼だけになろうといたしました  
なんという宿縁だろうか  
なにか恐ろしい思いがしてくることが  
たびたびありました  
でもきょうはそれが  
たいへんな間違いであることを知りました  
半眼の弁才天さま  
あなたのいたましい左眼喪失は  
まったくわたしの身代わりであったのだと  
じっと仰いでいて  
涙がこぼれてなりませんでした

開創1周年。巡拝者も1000人を超えました。友の会の皆様のご協力のもとこれからの歩みを進めていきたいと思っております。なにとぞ今年度も会員としてご協力をお願い申し上げます。

会費納入は同封の振込用紙をお使いください。

(すでに納入された方、重複をおゆるしください)

会費 : 1,000円/年間

金融機関 : 郵便局

郵便振替口座 : 00820-8-123136

口座名義 : 伊勢の津七福神友の会

《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内

電話 : 059-225-8558

URL : <http://isenotsu7fukujin>

■伊勢の津七福神 友の会特典 (会員証をお見せください)



- ・うなぎのつたや 100円引き 059-228-3005
- ・榊原館 日帰り入浴 お茶進呈 059-252-0206
- ・谷石材 花筒5%引き 0595-21-2148
- ・大寿司 アイスクリームなどデザートサービス 059-234-5129
- ・はま作 和菓子サービス 059-228-3088
- ・松菱 7階彦兵衛ランチ700円以上 コーヒー1杯サービス 059-228-6082
- ・都ホテル内 日本料理「浜千鳥」食事の際、10%割引 H26.12.31まで 059-229-2255
- ・ホテル三徳 宿泊客にコーヒー一杯サービス 059-223-3109

切り取って会員証へ

編集後記：1月にZTVでの「七福神」の紹介があつて、巡拝される方も増えました。心温かいおもてなしを考えています。

池上 kanon@nifty.com